

C1000シリーズ

AVD1041

取り扱い説明書

V2.00

株式会社コスミックエンジニアリング

〒191-0065 日野市旭が丘3-2-11

TEL 042-586-2933

FAX 042-584-0314

1. 概要と特長

AVD1041 は C1000 シリーズの C-Bus モジュールです。

(本取り扱い説明書は、基板名「F-AVD005-B」にのみ適用されます。)

NTSC 信号を 1 入力 8 分配 (入力スルーアウト) します。

2. 構成

AVD1041 本体とコネクタモジュール RPB1001 により構成されます。

- ・ AVD1041 本体
基板および補強を兼ねたシールド板と一体化したフロントパネルで構成されています。
- ・ RPB1001 コネクタモジュール
入力用 BNC コネクタ 1 個、出力用 BNC コネクタ 9 個 (内 1 つはスルーアウト用) が設置されています。
C1000 シリーズのリアパネルに固定します。

3. 機能

1) 入力信号をスルーアウト出力します。スルーアウトを使用しない時は“THRU”に 75Ω 終端抵抗を取り付けてください。

2) クランプを行っています。

入力信号の DC 成分は帰還回路により入力部で打ち消され安定した信号伝達が出来ます。工場出荷時設定は以下の通りです。

「S1 : NO CLAMP 側 / JP7 : SOFT CLAMP 側」

尚、基板上のジャンパ設定によって、クランプの種類を選択が可能です。

「S1 : CLAMP 側 / JP7 : NO SOFT CLAMP 側」

この設定により入力映像信号が VBS に限りバーストフラグ付近にクランプがかかる回路を經由します。

「S1 : NO CLAMP 側 / JP7 : NO SOFT CLAMP 側」

入力映像信号が C の場合は、この設定にしてください。

上記設定はシステムの仕様に合わせて、選択を行ってください。

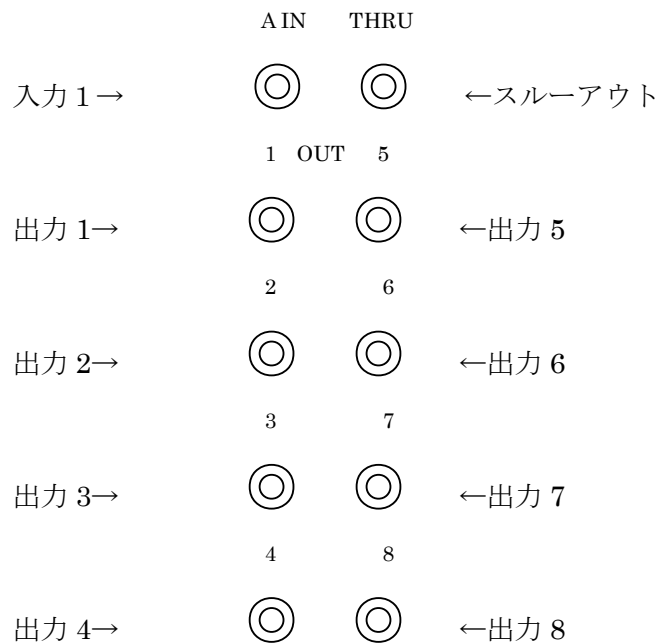
3) 入力信号は VBS、SYNC、Y、C、コンポジット信号など取り扱えます。

4) ケーブル補償回路

- ・ 約 300m までケーブル補償が可能です (5C-2V 相当使用時)。
- ・ 前面パネルより調整が可能です。

5) リアパネル図

・ 1入力8出力時



4. 調整方法

出力映像レベルの調整

- 1) RPB1001 の出力コネクタにピクチャーモニタ、波形モニタおよびベクトルスコープなどを接続します。
- 2) フロントパネルの“GAIN”、“EQ” ボリュームで調整します。

5. 設置方法

- 1) C1000 シリーズのシャーシにおいて予め使用するスロットに RPB1001 を固定します。
- 2) AVD1041 をスロットに挿入し奥まで差し込みます。
- 3) C1001 の使用時は抜け止め防止金具を起こします。
C1002 を使用時はフロントパネルで各モジュールは固定されます。
- 4) 3. 機能の図にある BNC コネクタに信号ケーブルを接続してください。

6. その他、ジャンパ設定

以下のジャンパ設定は、工場出荷時の状態でご使用ください。

- 「JP1, 6 : NTSC側」
- 「JP8 : HD側」
- 「JP2 : AC側」

7. 主な仕様

1) 入出力信号

入出力数	1 入力 8 出力 1 系統
基準入力信号	VBS1.0Vp-p 75Ω BNC 不平衡
基準出力信号	VBS1.0Vp-p 75Ω BNC 不平衡

2) 基本的電気特性

f 特	±0.5dB @60Hz~6MHz -1.0dB @~10MHz
DG	0.5%以下 (10~90APL)
DP	0.5° 以下 (10~90APL)
ケーブル補償	最長 300m (5C-2V)
動作環境	0°C~+40°C 20%~85% (結露無き事)
電源	DC +5V、-5V
消費電力	約 2.6W
質量・外形寸法	約 0.3Kg W28×H77×D272 (コネクタモジュール含まず)